

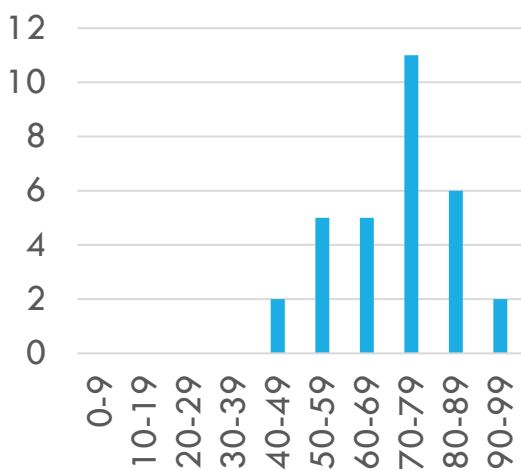
令和3年北海道地区のサーベイランス状況について

研究分担者：北海道大学神経内科 矢部一郎

令和2年11月～令和3年10月CJDサーベイランス調査(16名)

	孤発性CJD	遺伝性CJD	分類不能CJD	該当せず
例数	12	1	0	3
男：女	8：4	1：0		3：0
平均年齢(歳)	69.5	83		73.3
備考		V180I: 1例		症候性てんかん 2例 PML 1例

北海道地区の直近5年における否定例32例の検討
男性22例、女性10例
平均年齢71.25歳



初発症状	人	疾患分類	人
進行性認知症	9	脳炎	7
意識障害	6	認知症	6
ミオクローヌ	2	てんかん	5
歩行障害	2	変性疾患	2
視空間認知障	2	代謝性疾患	1
けいれん	2	薬剤性疾患	1
構音障害	1	精神疾患	1
喚語困難	1	外傷	1
幻覚妄想	1	脳血管障害	1
嘔声	1	その他	2
失行失認失読	1	不明	5
頭痛	1		
パーキンソニ	1		
発熱	1		
抑うつ	1		

解説

- 1.プリオン病が疑われた16名のサーベイランスを実施した。
- 2.孤発性CJD 12名と遺伝性CJD 1名を報告した。
- 3.直近5年の否定例32例を解析した。
- 4.プリオン病とCJD mimicsを鑑別するために、剖検による診断が重要である。